

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## タカラスタANDARD株式会社（証券コード:7981）

### 【据置】

長期発行体格付                      A +  
格付の見通し                         安定的

### ■格付事由

- (1) システムキッチン、システムバス、洗面化粧台を主力製品とする大手住宅設備機器メーカー。システムキッチンのシェアは国内トップクラス。独自のホーロー技術を駆使した商品展開により他社製品との差別化を図っている。業界最多のショールームを活かした地域密着型の営業力に加え、マンションやハウビルダー向け製品にも強みを有するなど事業基盤は強固である。生産面では買収等により技術や生産能力を取り込むことで内製化を進めてきたが、新たに19年1月にポリエステル系樹脂製品を扱う事業会社の株式を取得し、子会社化した。
- (2) 住宅着工やリフォーム需要は盛り上がり欠けるものの、当社の売上高は堅調に推移している。マンションやビルダー向けの販売が好調である。しかし、原材料価格上昇や物流費増加の影響により利益は弱含んでいる。当社では生産効率化を進めるとともに、物流費の抑制を図っており、これら施策により利益がさらに低下する可能性は低いと考えている。財務面では実質無借金を維持し、財務諸比率も良好な水準にある。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 19/3期の営業利益予想は110億円（前期比10.9%減）と公表されている。今後も物流費が利益の圧迫要因となることが予想される。当社は19年4月に組織改正し、生産物流本部を立ち上げた。生産、物流、販売をトータルでとらえた物流体制見直しにより収益体質の強化を図る。また、今般の子会社化により樹脂製品についても一貫生産体制が構築された。JCRではこれら収益性向上施策の効果を注視していく。
- (4) 19/3期第3四半期末の自己資本比率は64.7%と良好な水準にある。名古屋工場で新倉庫建設や焼成炉導入などの設備投資はあったが、実質無借金の状況に変化はない。今後は省人化、自動化など生産合理化のための設備投資が増加することも予想される。ただ、大規模な投資は現状想定されておらず、キャッシュフローと手元流動性で十分対応できるとみている。

（担当）加藤 直樹・井上 肇

### ■格付対象

発行体：タカラスタANDARD株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2019年4月24日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：千種 裕之  
主任格付アナリスト：加藤 直樹
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) タカラスタンダード株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル